

(別紙5)

補助事業番号 27-2-020
補助事業名 平成27年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業
補助事業者名 一般社団法人 日本自閉症協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自閉症の概念が自閉症スペクトラムとして知的障害を伴った自閉症から、知的障害を伴わない高機能自閉症やアスペルガー症候群までの連続した障害と認識され、社会の中にもこの障害を持つ人が多く存在することが分かってきました。障害があるにもかかわらずその複雑な障害特性から家族や地域社会の正しい理解や適切な支援が受けられず、社会生活において常に生き辛さを感じ、困難な状況を解決できず、孤立してしまう場合も多く見られます。自閉症児者が豊かで幸せな生活を送れるよう、本人とその家族のみならず広く社会に自閉症の正しい情報を提供し、啓発を行なっていくことが重要であると考えます。更に自閉症児者に対しても社会で居場所を見つけていくため、集団生活を体験し社会スキルを身に付けるける訓練や、自閉症児者やその家族の心に寄り添った支援を充実させることで、自閉症児者の生活の質の向上を願い人生を幸福に生きる手助けをしていくことが責務と考えます。

(2) 実施内容

①自閉症児者の家族や支援者のための指導誌（紙）の発行

(<http://www.autism.or.jp/report05/keirin/h27jka.pdf>)

年1回指導誌「かがやき」を発行し、自閉症児者やその家族の他、療育・教育の関係者や施設職員、地域支援者や関係機関等に対し、自閉症を取り巻く行政の動きや法令・制度の解説などのほか、自閉症の最新医療や療育・福祉の・教育の実践など、最前線で活躍している専門家による質の高い情報提供を行っています。更に年6回会報誌「いとご」を発行し、日本自閉症協会や関連機関の活動や時事問題のほか、自閉症児者やその家族による体験談などを紹介し、日常生活に意欲を持って過ごせるように活きた情報提供を図っています。

(別紙5)



②自閉症児者対策の無料検診（治療教育相談）

（ <http://www.autism.or.jp/report05/keirin/h27jka.pdf> ）

医師や有識者による研修会を行い、その後来場者向けに個別相談会を行っています。自閉症児者とその家族が地域社会で幸せな生活を送れるよう、その地域でニーズの高いテーマに基づき情報発信をしています。正しい知識の提供と問題対処力の向上は、自閉症児者とその家族の生活の質の向上に繋がり、支援者が支援活動を継続していく力となるなど、地域社会にとって有益な財産となっています。また個別相談会では当事者とその家族の困難な状況が解決される機会を設けることで、生きづらさの軽減につながり、生活への意欲を高める一助となっています。



③自閉症児と保護者の相互理解と将来への指針（集団キャンプ（1泊2日））

（ <http://www.autism.or.jp/report05/keirin/h27jka.pdf> ）

地域社会で生活していくための社会スキルを身に付けるため、1泊2日の宿泊型集団生活活動を行います。2日間に渡り医師や専門家などの講師、専門指導員のサポートを受けながら、自分の特性と上手に付き合う技術を身につけ、地域社会で居場所を探し出せるように、登山や川遊び、飯盒炊爨などの療育プログラムに取り組みま

(別紙5)

す。また保護者に対しては研修・療育相談・懇親会を行い、保護者の学びの場を提供し、心のケアなどの支援を行っています。参加した親子が困難な状況や孤独感が軽減され、キャンプ後の生活に意欲を持って取り組めるように計画し実施しています。



2 予想される事業実施効果

①自閉症児者の家族や支援者のための指導誌（紙）の発行

関係行政機関や支援者に継続して届けることで、当事者に合わせた合理的配慮に基づく制度・支援体制作りなどの社会的資本へと結びつくことが期待されます。

また当事者とその家族にとっては、自閉症を取り巻く新しい情報を得ることで正しい支援選択することができるようになり、必要とする支援を受けることができます。

②自閉症児者対策の無料検診（治療教育相談）

専門家や地域の支援者が連携をとり、当事者とその家族にとって困難な状況が解決される機会を設けることで、生きづらさの軽減につながります。更に有事の際には支援の連携が期待できます。また継続して行うことで、支援者側の心の負担も軽減され、支援活動を継続していく力となります。

③自閉症児と保護者の相互理解と将来への指針（集団キャンプ（1泊2日））

集団活動や勉強会を通じて、まず家族が自閉症を正しく理解しよき理解者となります。その家族と地域社会の支援体制のもと、自閉症者が自分の特性を活かす技術を身につけ、社会において居心地のいい居場所を発見し自立に向けた社会性を育てていけるようになります。

(別紙5)

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

(<http://www.autism.or.jp/report05/keirin/h27jka.pdf>)

会報	いとしご152号	14,100部
会報	いとしご153号	14,000部
会報	いとしご154号	14,000部
会報	いとしご155号	14,000部
会報	いとしご156号	14,000部
会報	いとしご157号	14,000部
指導誌	かがやき12号	14,000部

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当物なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人日本自閉症協会（ニホンジヘイショウキョウカイ）

住 所： 〒104-0044

東京都中央区明石町6-22

代 表 者： 市川宏伸（イチカワヒロノブ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 事務員 天野美生（アマノミオ）

電 話 番 号： 03-3545-3380

F A X： 03-3545-3381

E - m a i l： asj@autism.or.jp

U R L： <http://www.autism.or.jp/>